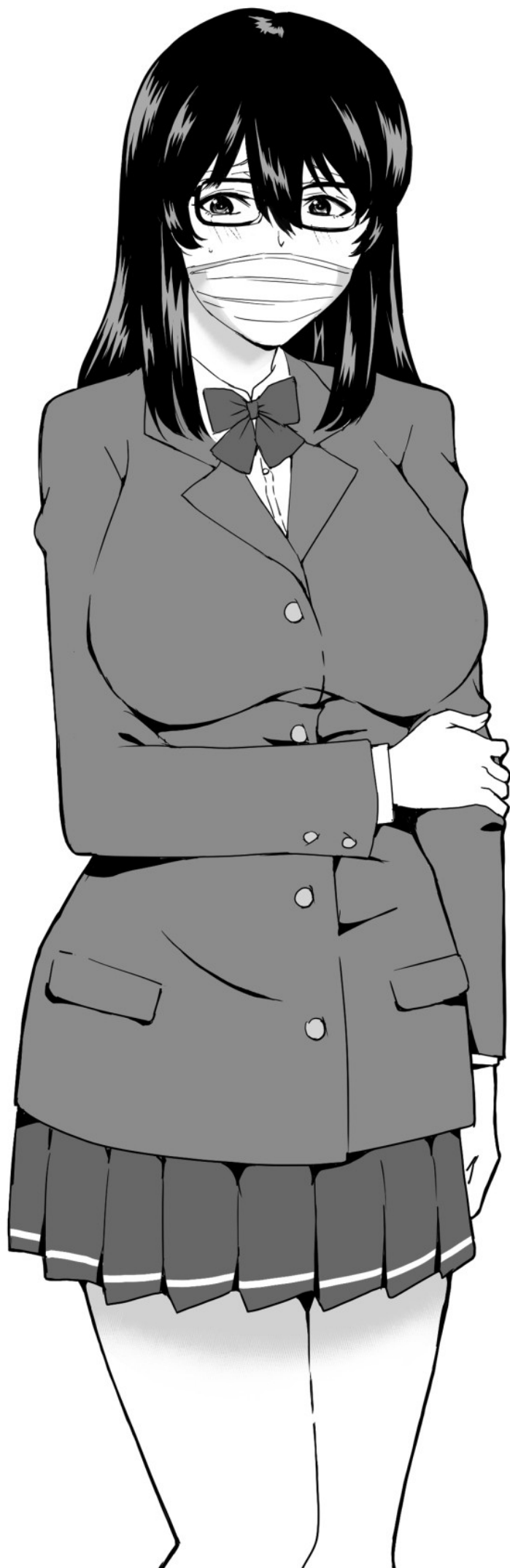
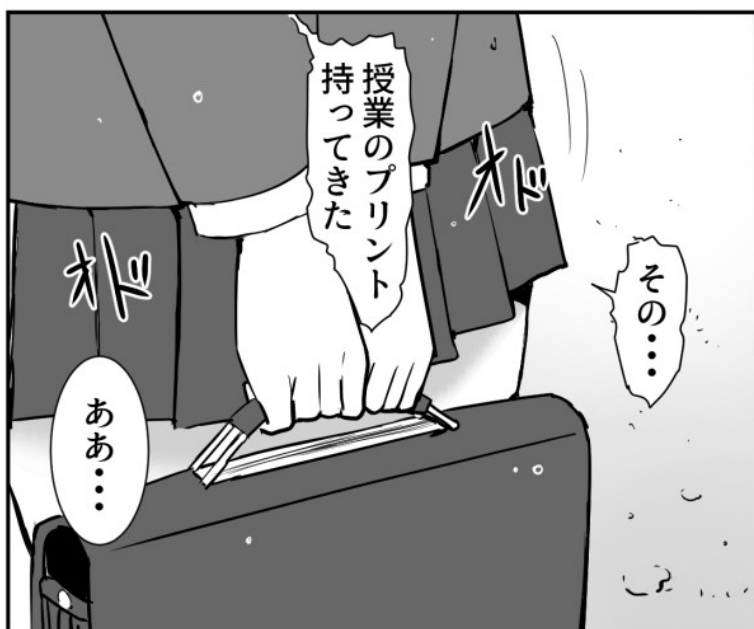


アリス下
係の
白井志



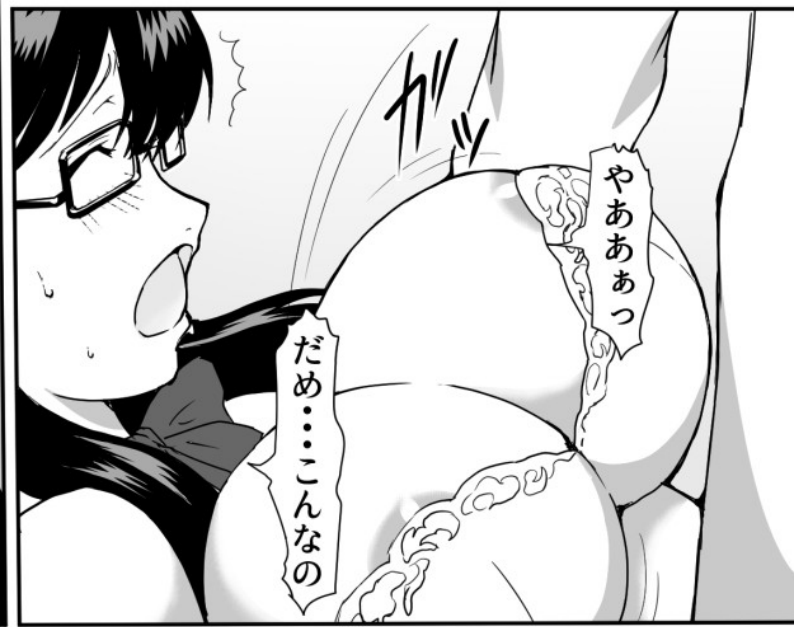




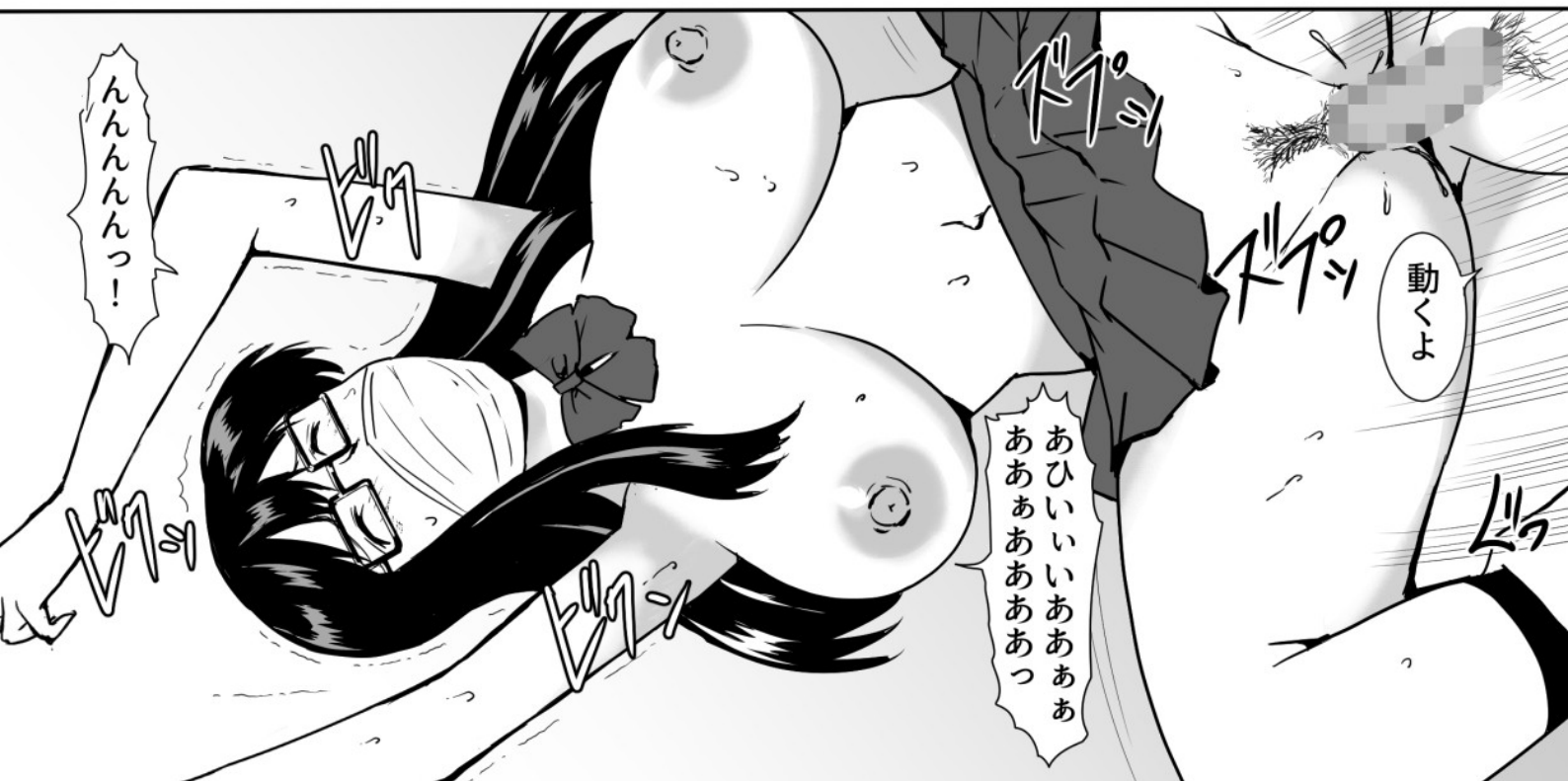




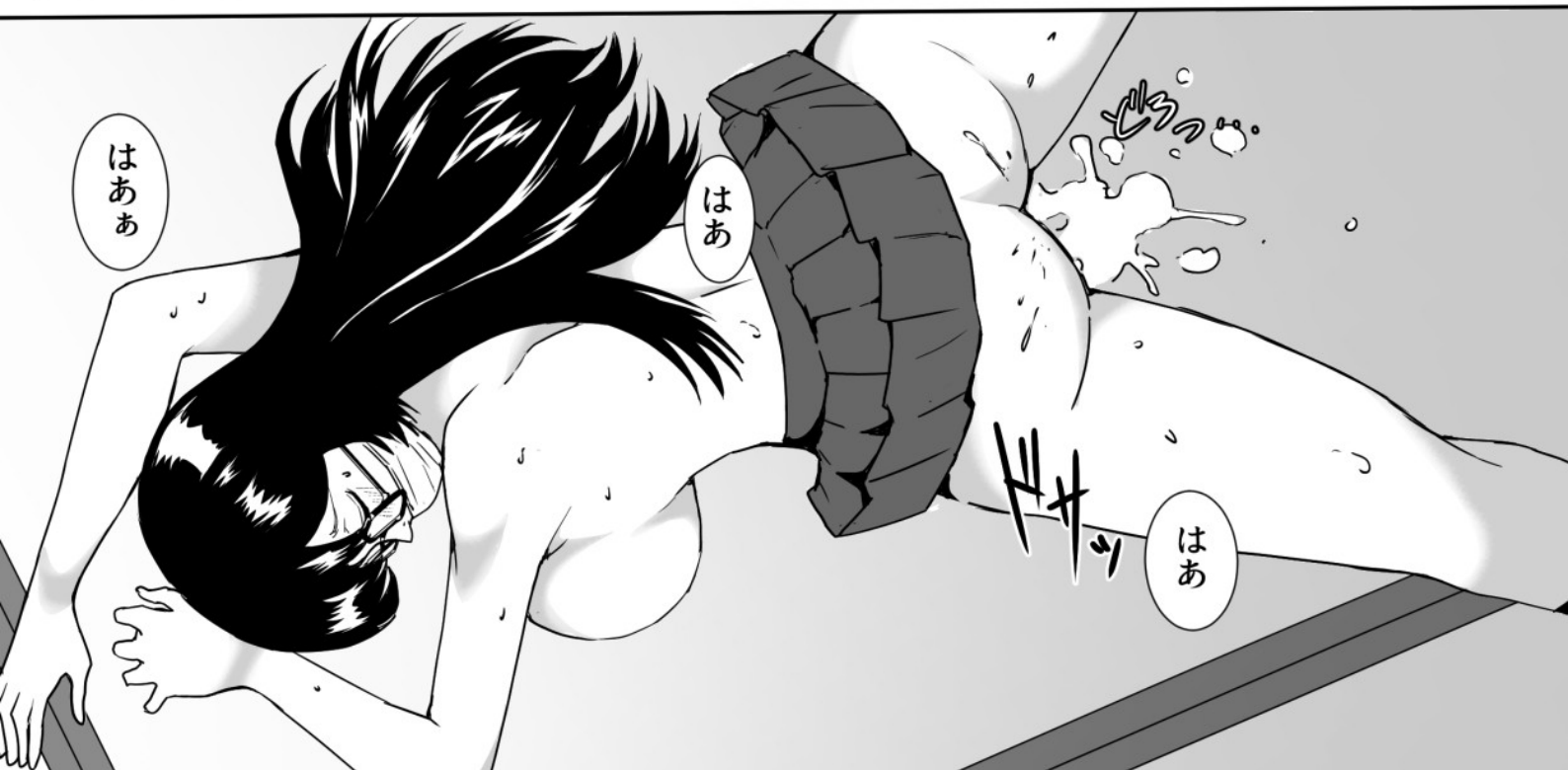










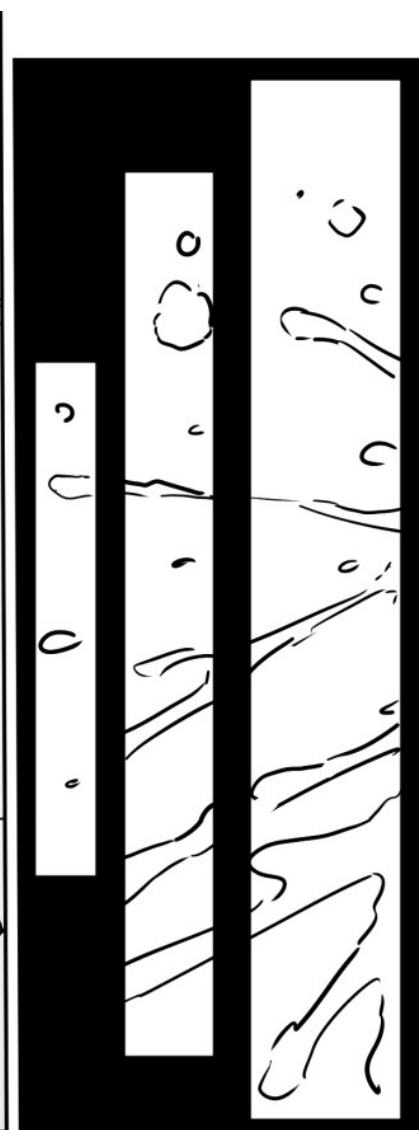




服を着るとそのまま
帰って行った



事が終わったら
白井さんは何も言わず

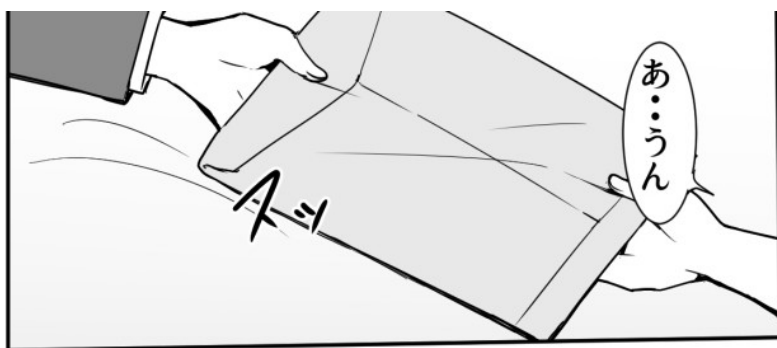


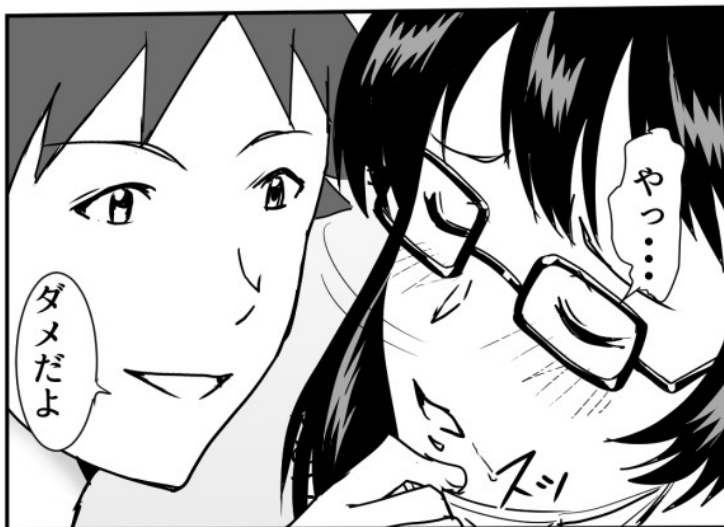
もう二度と彼女が
プリントを持って来る
ことはない...

その時はそう
思った...

数日後











だからセックス
いっぱいしようよ

いいよね
決まり!

わ: あんっ
わたし: そんな
こと...

聞こえないよ
なに? もっと
突いて欲しいの?

あああ...
だめっ...

しょうがないなあ
ホラ!

ちがつ...
んはああああ
あああああんっ



本当はこういうの
好きなんでしょ？w

ちがつ

だってほら...



マスク越しでもいいから
なめてしごいてよ

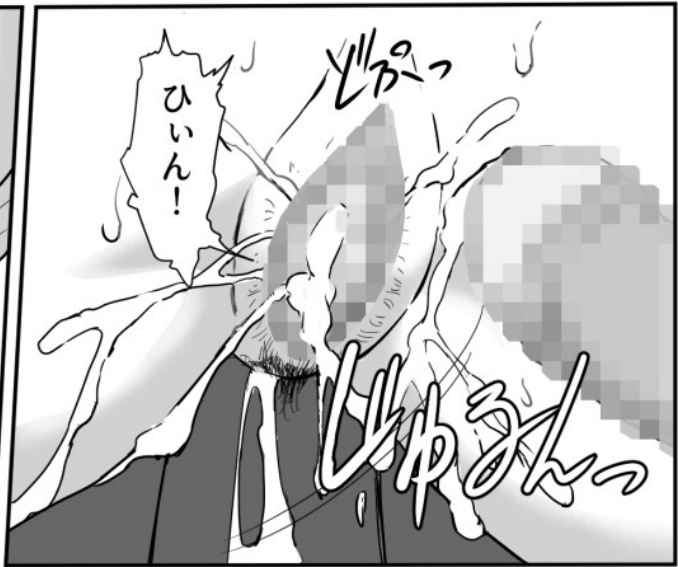
んんんっ

なかなか
いいよ白井さん



馬鹿みたいに
濡れ濡れじゃんw

あああああああ
ああはああああん!



そうそう・・・なかなか
上手いよ白井さん

ホントに初めてなの？
フェラするの

んんん・・・

よくねぶって
気持ちよくさせてよ

ふうふううん

ああ・・・せっかく
だから

こっちも使ってよ

こんなにでかいの
使わないとw

うぶうぶ

ふーっ・・・

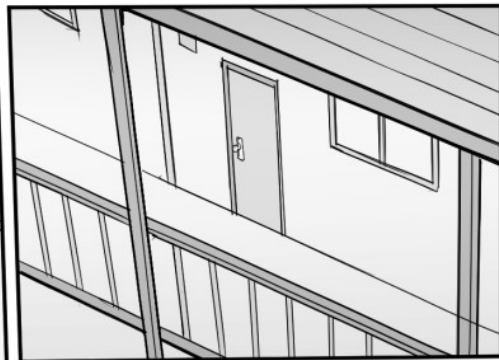
おっぱい揉みながら
自分も気持ちよくなりなよ

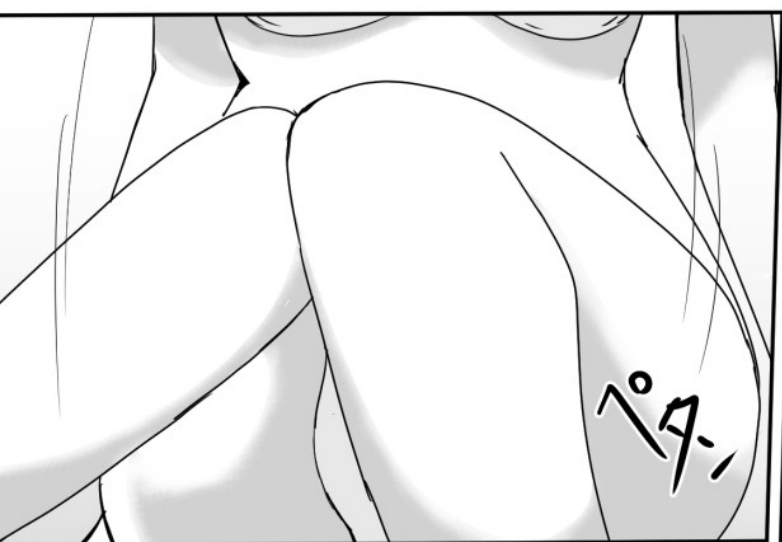






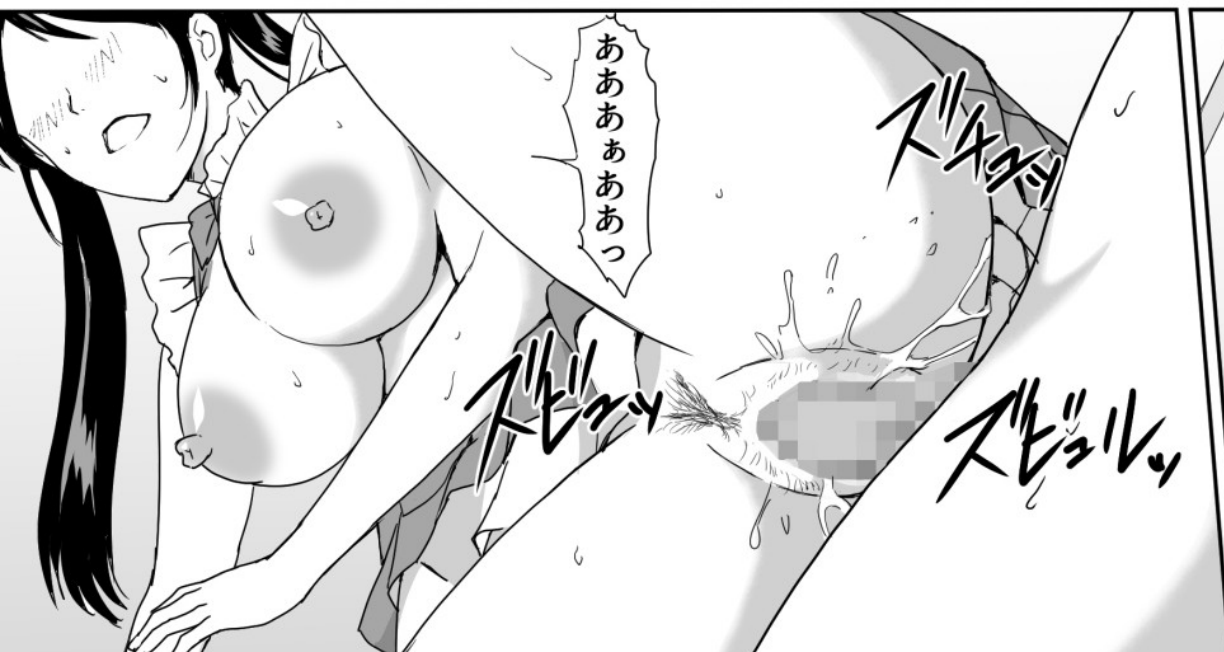














プリント係の白井さん

2022年7月2日 潮みや著

*この物語はフィクションです、実在の人物・団体・事件等とは一切関係がありません。
*本作品の無断転載、複製、WEBへのアップロードを禁じます。
*18歳未満閲覧禁止。